

平成24年度 第3回浜松市市民協働推進委員会

日 時：平成24年12月12日（水） 10時00分～12時00分

場 所：浜松市役所本館2階 21会議室

出席者：下澤嶽委員長、山口祐子副委員長、大沢明恵委員、大塚晴義委員、
平澤文江委員、古賀玲子委員、高林良樹委員
鈴木恵子市民協働センター副センター長

報道関係：なし

傍聴者：なし

事務局：岩井市民部長、今中市民部次長、富永専門監、小野主幹、井川、高橋、村越

会議次第

1 開会

2 議事

(1) はままつ夢基金団体登録審査について

(2) 市民協働冊子の作成について

(3) その他

3 閉会

資料

- ・ はままつ夢基金団体登録審査関係書一式
- ・ 市民協働冊子原稿

1 開会

(事務局) ただ今より、平成24年度第3回市民協働推進委員会を開催する。

(市民部長挨拶)

(資料確認)

(事務局) 本委員会は特別の理由がない限り公開とするが、今回の議題の中にあるはままつ夢基金団体登録審査については、非公開とさせていただきたいと考える。いかがか。

(委員全員異議なし。)

議事進行については、下澤委員長にお願いします。

(下澤委員長) 本日は2つの議題を取り扱う。

はままつ夢基金の審査について、時間をかけて丁寧な議論をしたい。

冊子の方については、主な構成や方向性について、ご指摘いただきたい。

2 議事

(1) はままつ夢基金団体登録審査について

(会議内容については、非公開。)

(結果) 委員会として、今回登録申請のあった全ての団体(13団体)の登録を可能とすることを決定。

(2) 市民協働冊子の作成について

(下澤委員長) 今日は、どういう狙いでこの冊子を作ったのかを説明させていただき、方針としておかしな所はないかをご議論いただきたい。

冊子の装丁は文庫本サイズで、96ページになる予定である。1色刷りのシンプルなものとなる。

内容としては、はじめに簡単な挨拶、その次に「市民協働とは」を少し語り、10の事例を紹介していく。事例紹介については、いろいろなジャンルが入るよう、また年齢や性別も偏らないよう配慮したつもりである。

その後、窓口情報や助成金情報、浜松市市民協働推進条例などの行政情報を載せ、市長との対談ページを6ページ位もうけ、おわりの挨拶とする予定である。

中身は、イラスト、事例紹介、コラムが組み合わさった展開となっている。大事な所は、事例紹介の部分の展開であるが、最初に団体の方の写真

と簡単な紹介をさせていただき、その後質問・回答という対話形式となっている。できるだけ本人の気持ちが出るような質問にさせていただき、なぜ活動を始めたのか、どういう事が生きがいになったのか等をお話いただいている。

調整用のページとして、3つほどコラムももうけている。インタビューが増えればコラムは減るという感じで使用する。

奥付に、編集委員の名前と、著として市民協働推進委員会、発行を市として載せる予定である。

編集方針等について、ご意見をお願いしたい。

(山口副委員長) 素晴らしい出来である。内容も優れている。

(平澤委員) 思っていたよりも素敵な出来となった。今年度だけで終わらず、続けていけるとありがたい。

(大沢委員) こんな素敵にまとまるとは思わなかった。

(下澤委員長) 気をつけた方が良いと思う所や、こういうものを入れた方が良いのではというご意見はあるか。

(山口副委員長) 市民協働の冊子としては素晴らしい。ほとんどが行政と接点のある事例である。

(事務局) 市民協働を進める立場からみて、行政主導ではない事が上手く紹介されていて良い。

(下澤委員長) 3月の委員会では最終校正をお見せするという事でよろしいか。

(事務局) 年度末ぎりぎりの開催であれば、お見せできると思う。

(山口副委員長) 細かい字で書いている部分があるが、見やすさはどうだろうか。

(大塚委員) 少し見にくい部分はある。

(事務局) 字については、見やすくなるよう改良したい。

(下澤委員長) 市長との対談の件だが、家康くんも含め対談できないかと思っているのだが。

(大塚委員) 良いと思う。

(山口副委員長) 前半のトーンと合うかどうかである。

(下澤委員長) 可能ならば実現したい。

(山口副委員長) 文章の間に点線が入っていて見にくい感じがする部分がある。

(下澤委員長) いろいろなお指摘ありがとうございました。

3 閉会

(事務局) 次回の委員会は、3月上旬位の開催を予定している。

(委員一同) ありがとうございました。